

科目名称	母性看護学Ⅰ（親になるということ）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	2	45
担当教員	小池 佐知	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（助産師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

母性の概念や母性看護の対象を理解し、母性看護の役割と適応を学ぶ内容と次世代を産み育てる母性・父性を身体的・精神的・社会的に理解する。また、女性生殖器疾患を持つ対象の看護を含み、幅広く次世代の健全育成に関わる知識を養う。

【2】 学習目標

1. 親になるとは何かを幅広く考え、母性をめぐる様々な定義を理解する。
2. セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス/ライツについて理解する。
3. 母性看護の歴史と統計的指標からその変遷を知り、母性看護に関する組織や法律、母子保健施策の視点から母性看護を取り巻く環境の特徴を理解する。
4. 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化と、母性の発達・成熟・継承を理解する。
5. 妊娠期の正常な経過を学び、看護師としての援助方法について理解する。
6. 妊娠期における異常な経過やハイリスクについて学び、看護師としての援助方法を理解する。
7. 出生前診断、生殖医療にかんする知識を学び、看護師の役割について理解する。
8. 女性生殖器に障害のある対象の看護を理解する。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1		
2	母性看護の基盤となる概念	講義
3		
4		
5	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	講義
6	母性看護の対象理解	講義
7	リプロダクティブヘルスケア	講義
8	母性看護に使われる看護技術	講義
9	女性生殖器疾患を持つ対象の看護	講義
10	産褥期の経過と褥婦および家族のアセスメント	講義
11	妊娠期の身体的特徴	講義
12		
13	妊婦と胎児のアセスメント	講義
14		
15	妊娠の異常と看護	講義
16	妊婦の看護にかかわる技術	演習
17		
18		
19		
20	妊婦への保健指導	グループワーク 演習
21		
22		
23	不妊および出生前診断と看護	講義
	まとめ	講義
	試験	

【5】 評価方法

筆記試験 80%、課題レポート 20%

【6】 教科書

森 恵美: 系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論(第15版) 医学書院 2026 (電子版)

森 恵美:系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論(第15版) 医学書院 2026 (電子版)
鈴木 直:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器(第16版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

鈴木 利治:患者がみえる「新しい教科書」 かんテキ 産婦人科(第1版) 株式会社メディカ出版 2023

【8】 受講生へのメッセージ

親になるとはどういうことなのか、次世代の健全育成のために看護師としてどのような援助が必要となるのか一緒に考えてみましょう。